

関係各位

高知県病害虫防除所長

令和 5 年度病害虫発生予察技術情報(第 10 号)

高知県のニラほ場で確認されたフシダニ科の一種の発生状況について

特殊報第 3 号(令和 5 年 12 月 22 日)で発表したフシダニ科 *Aceria* 属の一種について、法政大学植物医科学センターに同定を依頼した結果、栃木県で発生しているものと同一種であることが確認されました。なお、熊本県でも令和 5 年 11 月に同様の被害が確認され、栃木県で発生しているフシダニと同一種であるとして令和 6 年 1 月に特殊報が発表されています。

本年 3 月上旬までに県内で発生が確認されているのは南国市 2 ほ場、香美市 2 ほ場(香北、土佐山田各 1 ほ場)、香南市 3 ほ場(吉川 1 ほ場、野市 2 ほ場)の計 7 ほ場と中央部のみですが、他のニラ産地でも発生している可能性が考えられますので注意してください。本種は主に葉の基部や葉鞘部の葉と葉の隙間で寄生が見られます(図 1)。体長約 0.2 mm と小さいダニであり目視での判別は困難ですが、本種による被害は以下の特徴により確認できますので、被害株の早期発見に努めてください。

【被害の特徴】

葉に水疱状の隆起が形成され、一見するとカスリ葉に見えますが、被害部位を触るとザラザラしているため容易に判別できます。症状が進むと葉が湾曲、奇形化し、株が小型化することもあります(図 2~4)。

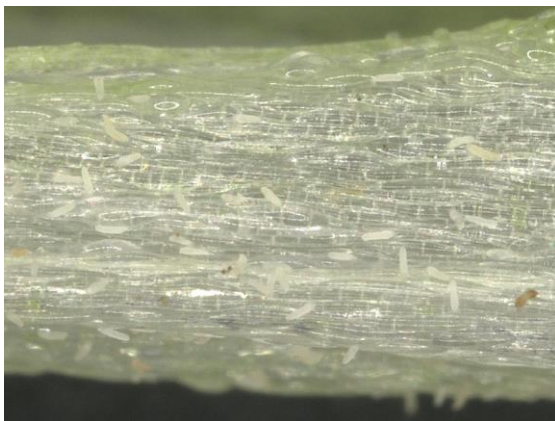


図 1 葉鞘部に寄生するフシダニ



図 2 葉身の被害

色が抜けて見える部分には小さな水疱状の隆起が形成されており、触るとザラザラしています。

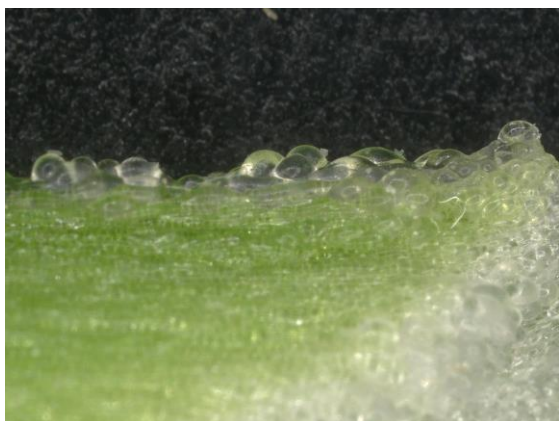


図3 葉の基部付近に形成された水疱状の隆起



図4 小型化した株

お問合せは、病害虫防除所(TEL：088-863-1132)または環境農業推進課(TEL：088-821-4861)まで